第63号
平成21年9月

フクタニュース

発　行
(株)フクタ
砕石部

戦い終わって

ある業界紙の中で砕石協会の会長さんが示唆に富んだ話をしておられた。引用するとこうである。

地獄の亡者が食事をするとき、身の丈より長い箸を与えられた。何とかつかむ事は出来るのだが、どうしても自分の口に入れることは出来ない。一方極楽では、同じ長い箸を使うのだが自分の口ではなく隣の人の口に運ぶので、めでたく皆が食べられる、という話である。

８月３０日、政治や経済、価値観や国民性が岐路にある中での選挙である。自民党のホームページに『民主党のマークは日の丸を分割しているのでけしからん』と載っていた。方広寺の『国家安康』の鐘と同類である。今大事なのは地域の中で長い箸でどうやって食べようかと考えることではないだろうか。

はたして結果やいかに。

CHANGE

お盆前、事務所床のワックス掛けをしようと備品を動かしていたら、事のついでに配置変えということになった。前回は年始だったから１年に２度は多いかも、と思っていたら『あら、また変わりました？』というお客様の言葉。『また』ということは頻繁に変わっているなと思われているのだろう。それでも見る位置が変わると同じものでも違って見えるのだ。

配置変え⇒気分転換⇒発想転換⇒Ｈａｐｐｙという図式を秘かに期待している。

安でsite

砕石業の仕事を突き詰めれば『掘って、砕いて、選別する。』ことである。選別は所定の網目をつけたふるいで行なう。製品ごとに『粒度範囲』が決められていて、その範囲におさまるようにふるい分けるのである。粒の大きさのそろい具合を『粒度』といい、大きな粒から小さな粒までかたよりがなく連続しているものが締め固め密度が大きくなる。

コンクリート用砕石、砕砂は粒度を『粗粒率』で表し、一般的に砕石は6.15、砕砂は2.75というように表し、大きいほど粗く、小さいほど細かくなる。

粒度は砕石業で作り込める品質の中で大きなウェイトを占める要素であり、粒度管理は品質や工程の管理上重要なのである。

産×2 フクタ農園のはなし

しつこくなりますが、今月も農園便りをお届けします。無農薬ほったらかし野菜がそれなりに実り、野菜炒めにしていただきました。

みんな小粒でしたが、がっちりとした力強い味がしました(と思う)。今年は小さなカタツムリが寄生し、また雑草取りもしなかったので、来年は土作りをしっかりして害虫駆除もしてたくさん採れたら県道沿いで無人販売します・・・(笑)

衝撃 ～砕石業の本分～

八月二十一日、奈良県境に近い大阪府太子町の採石場で岩盤崩落事故が発生し、二名が亡くなった。現場の映像を見ると典型的なすかし掘り（オーバーハング状態）で、さらに無認可採取であったとのこと。いたましい事故である。

岩石採取をする為には、個人、法人、営利、非営利を問わず採掘計画を作成し認可を取得しなければならない。計画に際し採掘に関わる技術基準が決められており、それに準拠した採掘計画が求められている。

遠方の事故ではあるが、今回の事故を教訓に今一度我身を正さなければならない。

フクタ湖　現れる！

夏らしい日がないまますっかり秋の気配である。

例年だと夏の陽射しを受けて山は渇水状態であるのに、今年は下平地区最下部に湖が出現している。周囲200m、最大水深2.5m、エメラルドグリーンの水をたたえ、夕方になるとたまにカモが御休憩にやってくる。市内では米沢にある佐々木池が有名？であるが、それに匹敵する『幻の湖』の出現である。

← このアングルはビーチパラソルを２～３本立てるコーラルアイランド風

こちらは世界遺産 →
知床五湖を連想させる静寂

編集後記

毎朝６：５８からテレビで『星占い』を必ずみるという日課が私にはあります。運勢の良い順に発表されていくのですが、自分の星座が出てこないとドキドキ！今日はこんな一日でこれがラッキーポイントだとを教えてくれます。一番運勢が悪いといっぱいアドバイスがあって、かえって良いのかと思うときもあったりします。つい最近に知人が一日の始まりに自分に『よし！今日も頑張るぞ！』と気合を掛けてあげることが良いと言われて、私も朝星占いを見て、玄関を出る時に鏡を見ながら自分に気合を掛けるようにしました。
なんだか気持ちの良い一日が始まるような気がしますよ！